

連続講座

望ましい基準を活用した図書館改革 — 市民が求める図書館の姿と管理運営の在り方

指定管理者制度が発足して10年が経過し、時代の変化の中で市民が求める図書館とは何かをあらためて問われている。そんな中、2012年12月に新しい「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が告示され、図書館の管理運営に関わる事項についても、多くの観点を示している。そこで「期待される図書館の姿」「図書館行政の在り方」「指定管理者制度」「図書館改革と望ましい基準」等を切り口に、管理運営の諸問題をとりあげ、市民が求める図書館とは何かを考える連続講座を次のとおり開催する。

内容・講師

第1回 3月22日(土)

「期待される図書館と新しい管理運営」 (糸賀雅児氏：慶應義塾大学)

第2回 4月12日(土)

「図書館行政の在り方と指定管理者制度」 (山口源治郎氏：東京学芸大学)

第3回 4月26日(土)

「図書館改革と望ましい基準の活用」 (座間直壯氏：白百合女子大学)

主催：公益社団法人日本図書館協会

企画運営：日本図書館協会図書館政策企画委員会

日時：2014年3月22日(土)、4月12日(土)、26日(土)

13時30分～16時30分

会場：日本図書館協会2階研修室

参加費：各回500円

定員：各回80名(申込順)

申込方法：氏名、所属、参加希望講座、連絡先住所・電話番号を記入して、Email(件名を「連続講座」として)かFaxでお申込ください。

申込み・お問合せ先：

(公社)日本図書館協会 企画調査部 菊地/小泉

〒104-0033

東京都中央区新川1-11-14

(最寄駅は、東京メトロ東西線、日比谷線「茅場町」駅)

電話：03-3523-0815

FAX：03-3523-0841

電子メール：kikaku@jla.or.jp

URL：<http://www.jla.or.jp/>

交通・アクセスにつきましては、ホームページをご覧ください。

